

H25.7.30

全国コミュニティ・スクール研究大会 in 京都



～志を見つける学びの旅～

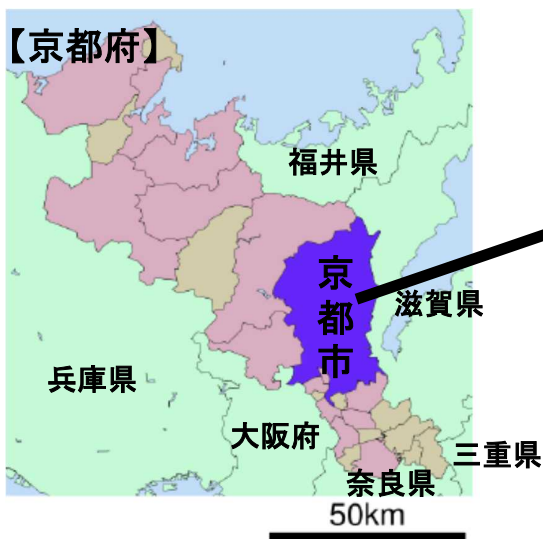
一人一人のキャリア形成を育む 小・中・高の接続と地域連携



京都市立下京中学校
村上 幸一

京都市と下京区

- ◆面積：827.9平方キロ
[南北：約50キロ，東西：約25キロ]
- ◆人口：約147万人
- ◆行政区数：11行政区





平成18年度閉校時
(19元学区49,000人)

	学級数	生徒数
成徳中学校	3	84
尚徳中学校	4	66
郁文中学校	11	202
皆山中学校	4	64
梅逕中学校	7	133

平成19年度開校時
下京中学校 19 535



下京中学校





下京区の一部

昭和60年～平成21年～現在との比較

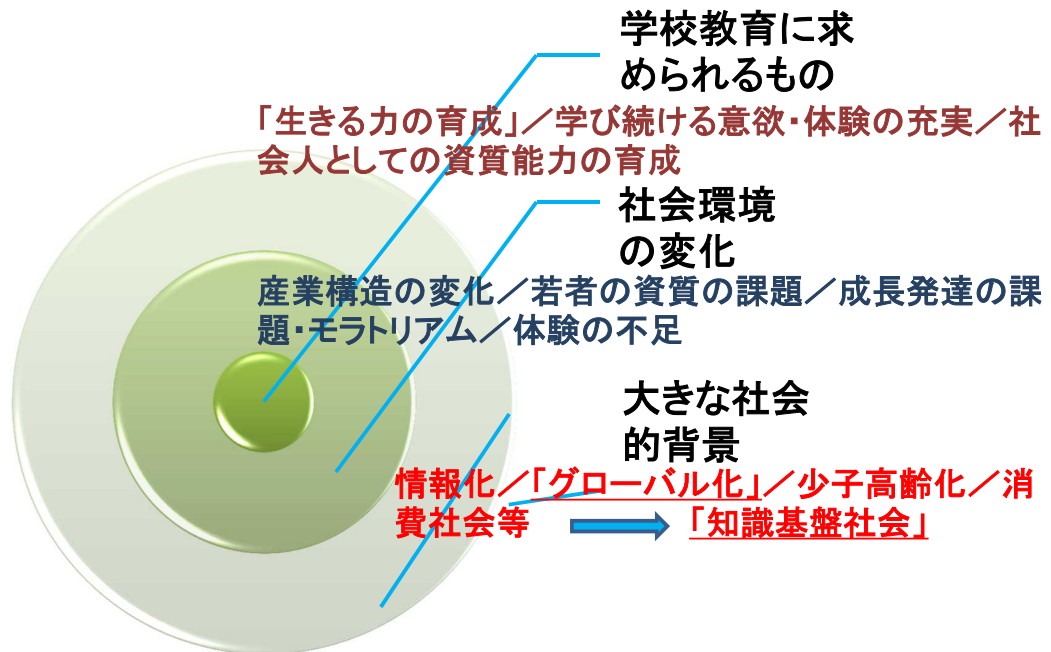
- 人口 78,744人→76,579人→80,370人(H25)
- 年齢階層別

人口15歳未満	14.5%→10.3%
65歳以上	18.0%→24.1%
- タイプ別世帯数

夫婦と子と親	3,133世帯→1,079世帯
単独世帯	8,475世帯→18,052世帯
不明	61世帯→1,766世帯

学校教育を取りまくもの

キャリア教育が必要となった背景と課題



一人一人の連続した学びと成長

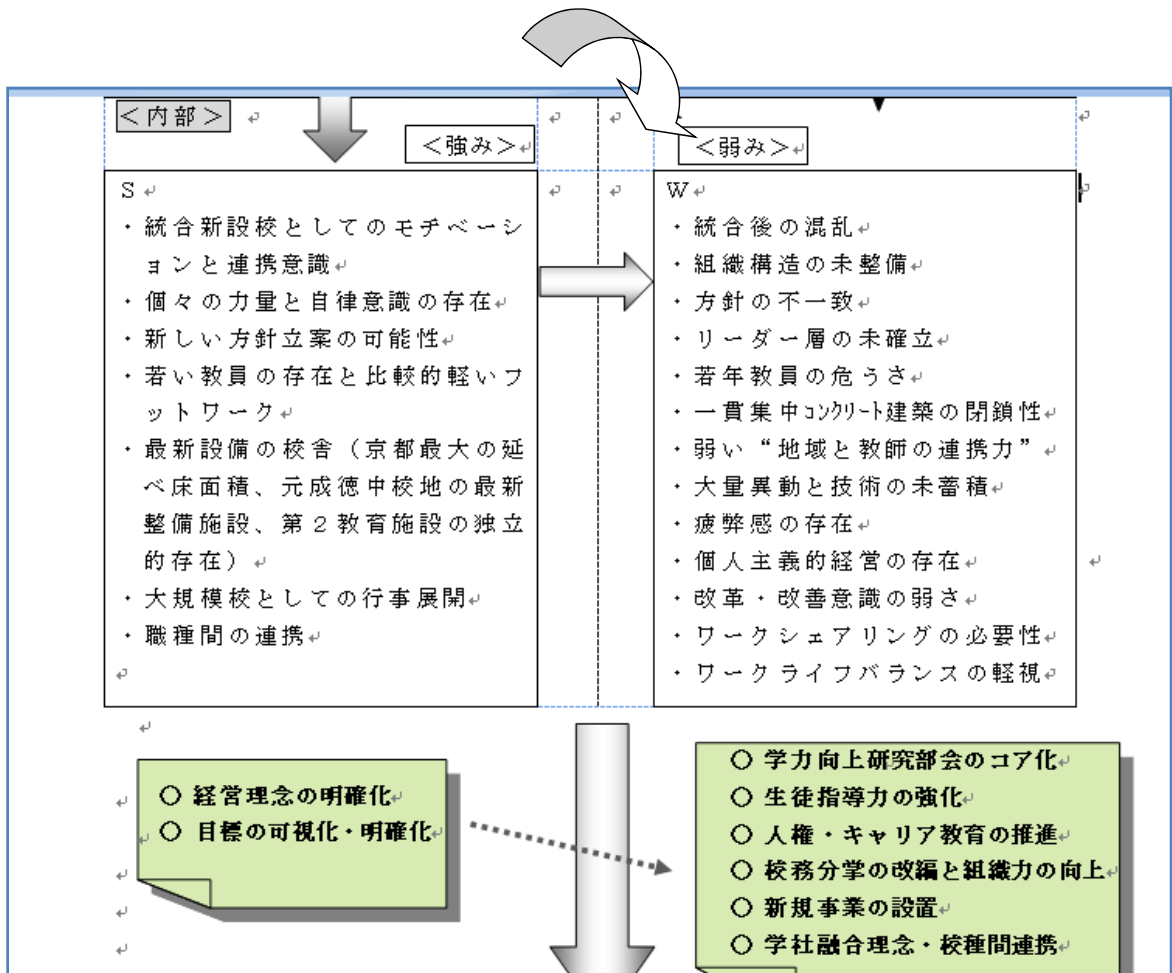
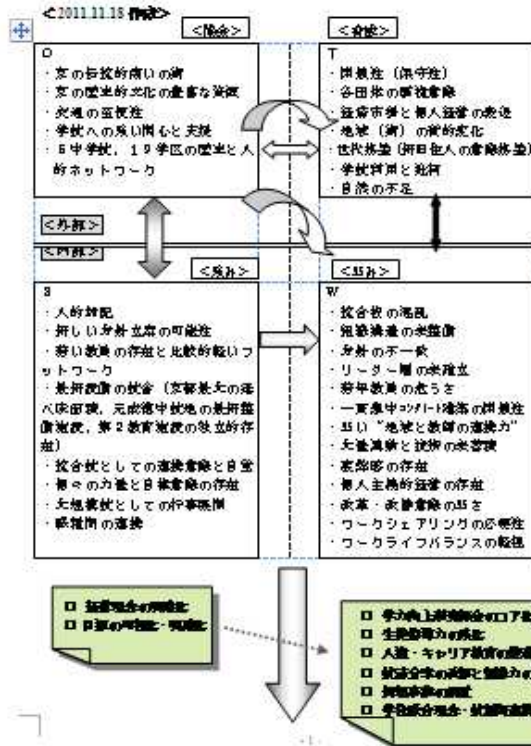


社会の中で自分の役割を果たしながら
自分らしい生き方を実現していく

キャリア発達を願う

★ SWOT分析

Strength (強み)	Weakness (弱み)
Opportunity (機会)	Threat (脅威)



協働としての学校づくりと 装置(仕掛け)づくり

その一つとしての学校運営協議会

下京中学校運営協議会 設置の趣旨・目的

「地域にある」「地域をもつ」公立中学校において、地域は「学校力」の重要な柱であり、学校は「地域の宝」ともなることができるものである。一志 きらめく「唯一無二」「心を一つに」「未来を創る」という校是(最高学校経営理念)の具現化をめざす本校教育を推進するためには、厚い信頼関係のもとに進められる家庭・地域社会と一体となった教育活動の充実が不可欠である。保護者・地域住民をはじめとする幅広い学校運営への参画・協力をいただきながら、学校・家庭・地域の教育力を相互に高め、その力を合わせて地域子ども達を育むという“協働の精神”をもてるよう、下京中学校学校運営協議会を設置する。

学校の力 (学校の教育機能)

資源を開拓
する



エネルギーを
創り育てる

推進エネルギー (学校に内・外在する資源)

